



# 山形県の暮らし

やまがたには、ゆとりのある暮らしと  
充実した子育て環境があります。

例えば、

○通勤時間は東京の約半分で帰宅時間も早く、有給休暇も多くとれます。

○待機児童数は少なく、出産・子育て期の女性の就業率は全国トップ水準です。



# 仕事

## ■通勤時間(片道)

山形

19.2分



東京

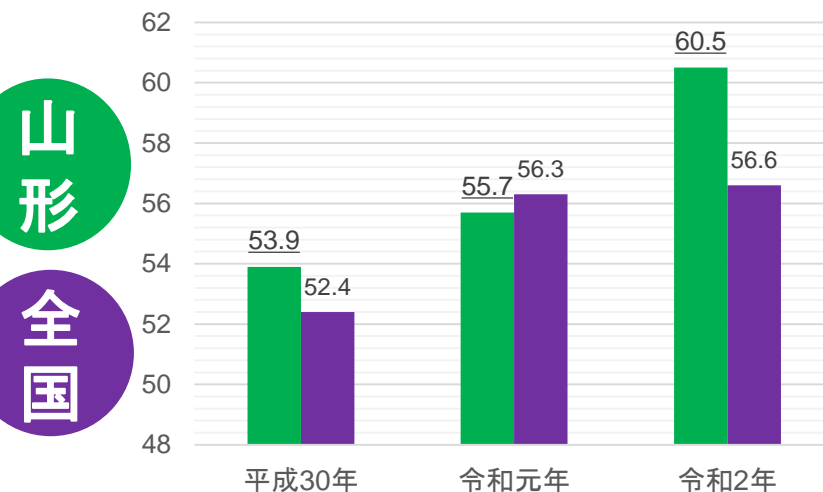
44.5分



(資料出所) 総務省「平成30年住宅・土地統計調査」

## ■年次有給休暇の平均取得率(%)

令和2年は全国平均を大きく上回る。



(資料出所) 山形県「令和2年山形県労働条件等実態調査」  
厚生労働省「令和3年就労条件総合調査」

## ■仕事からの帰宅時間

山形

18:28



東京

19:13



(資料出所) 総務省「平成28年社会生活基本調査」

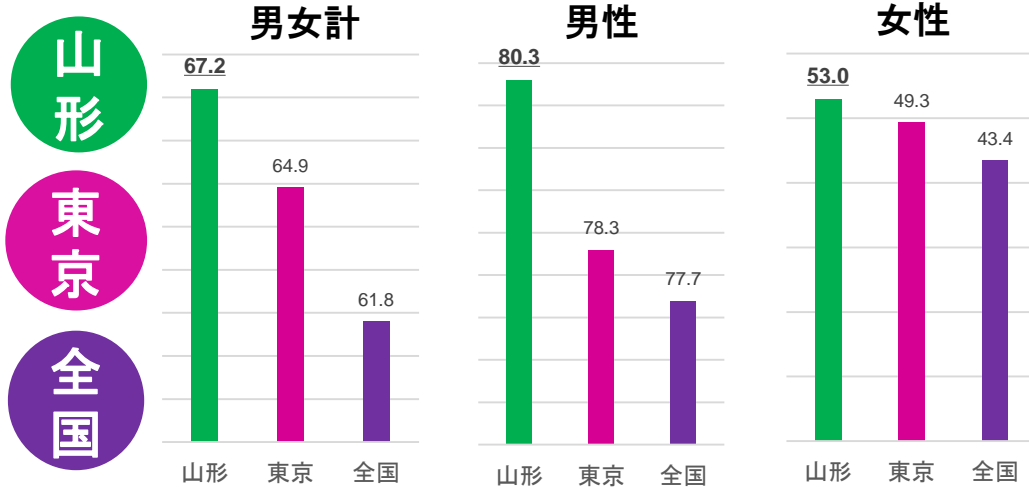
通勤時間が短く、仕事からの帰宅時間も早いため、自分の時間、家族との時間を多く取ることができます。年次有給休暇取得率も全国平均を上回っています。

# 仕事

男女共に、正規雇用の割合が高く、共働き率は全国2位。  
女性の労働力率は、全国平均を大きく上回っています。

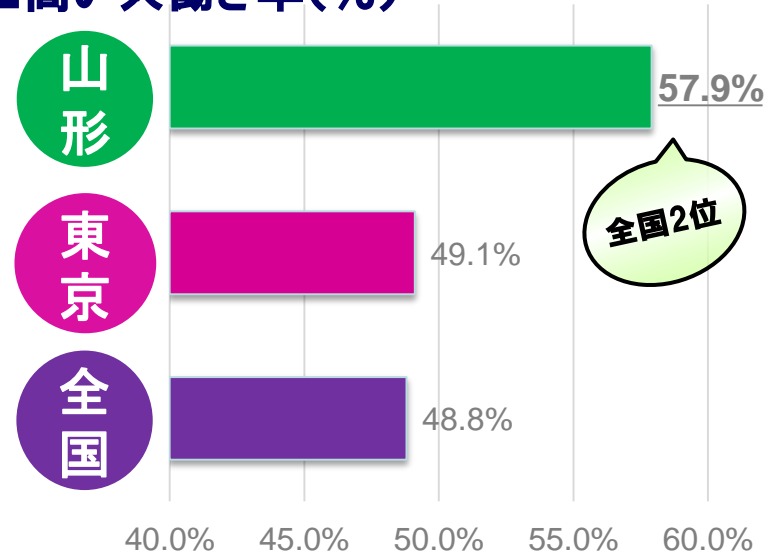
## ■正規雇用の割合(%)

男女共に全国トップ水準。



(資料出所) 総務省「平成29年就業構造基本調査」

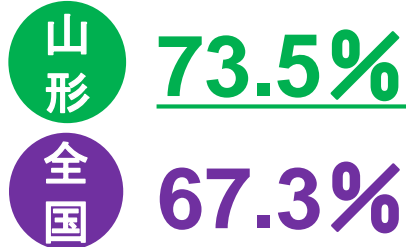
## ■高い共働き率(%)



(資料出所) 総務省「平成29年就業構造基本調査」

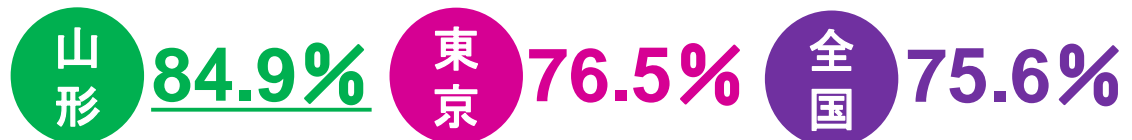
全国2位

## ■女性(15~64歳)の労働力率(%)



(資料出所) 総務省「平成27年国勢調査」

## ■出産・子育て期の女性(25~44歳)の労働力率(%)



(資料出所) 総務省「平成27年国勢調査」

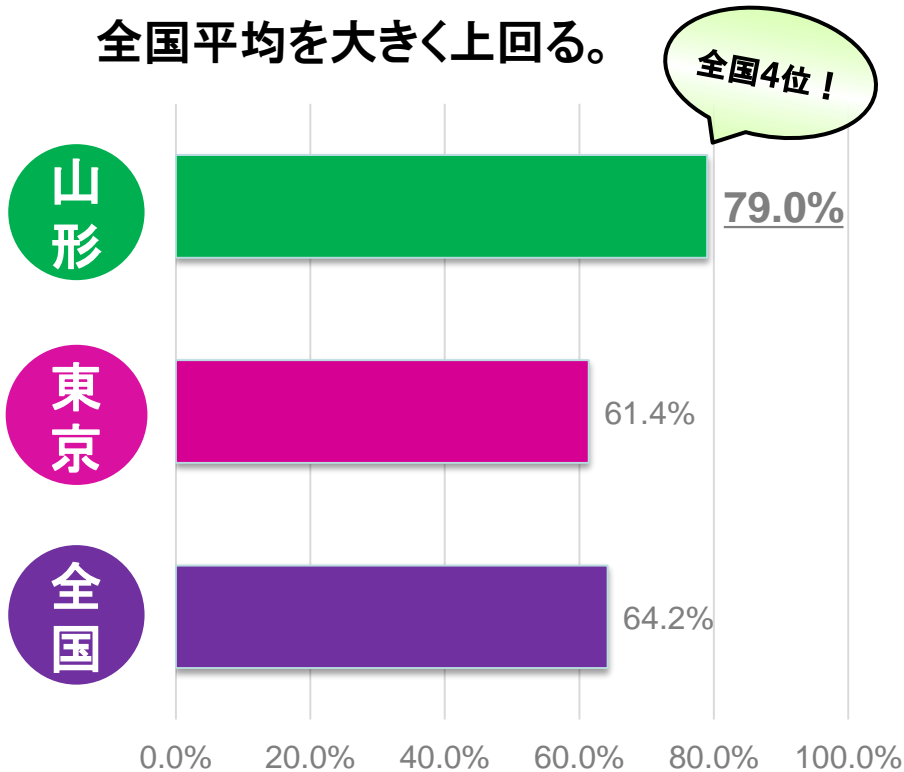
特に出産・子育て期の女性の労働力率は、全国2位の高さ！

# 仕事

育児中の女性の就業率が高く、働きながら子育てできる環境が整っています。

## ■育児をしながら働いている女性の割合(%)

全国平均を大きく上回る。



(資料出所) 総務省「平成29年就業構造基本調査」

## ■出産・育児を理由に離職した人の割合(%)



(資料出所) 総務省「平成29年就業構造基本調査」



## ■女性の育児休暇取得率(%)



(資料出所) 山形県「令和元年度山形県露同条件等実態調査」  
厚生労働省「令和元年度雇用均等基本調査」

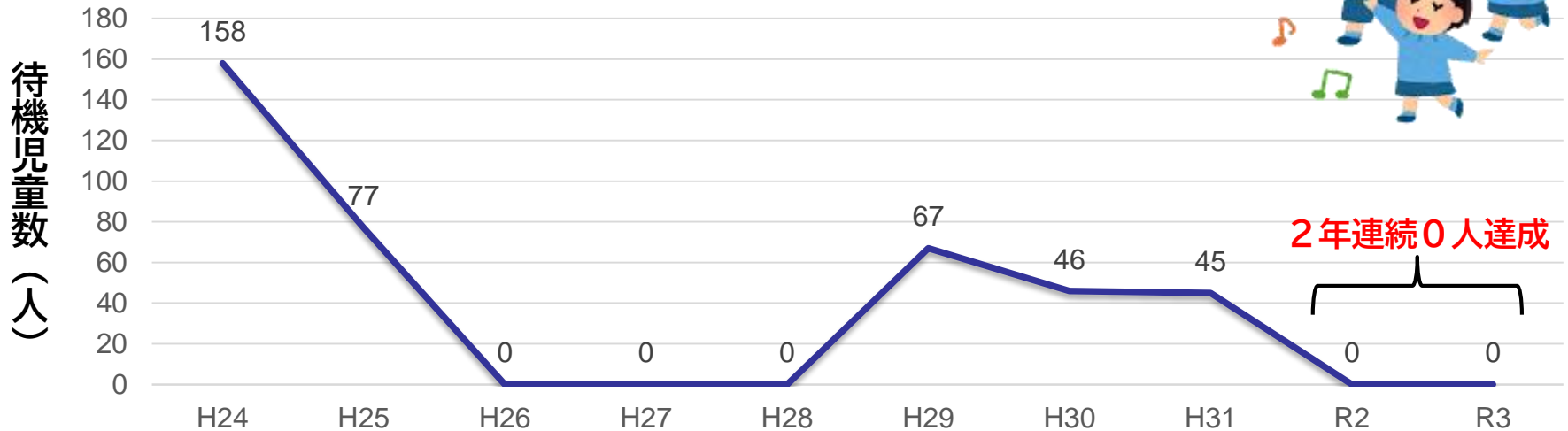
# 子育て

首都圏で問題となっている「待機児童」  
山形県は、2年連続で0人を達成！

## ■待機児童数

山形 0人

東京 969人



(資料出所) 厚生労働省「保育所関連等状況取りまとめ(令和3年4月1日)」  
山形県「保育所等の利用及び待機児童の状況について」

### 《山形県の待機児童解消へ向けての取組》

ハード面：市町村と連携した保育所、認定こども園の整備

ソフト面：保育士確保対策及び待遇改善・届出保育施設の認可化の支援、  
幼稚園等における長時間預かり保育への支援 等



# 教 育

## ■教育費

18歳未満の子ども一人あたりにかかる年間学習費総額の平均

山形

214, 535円

東京

455, 022円

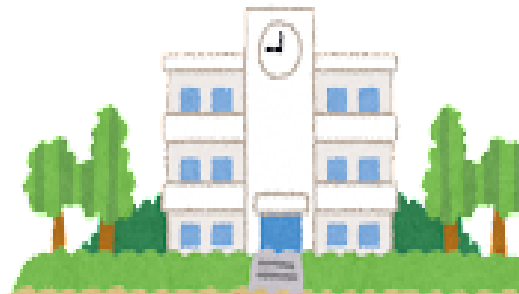
(資料出所) 総務省「家計調査家計収支編」

※2018~2020年の平均値、及び世帯における18歳未満数より算出



## ■子ども一人の学習費総額

	公立費用	私立費用
幼稚園3年間	67万円	158万円
小学校6年間	193万円	959万円
中学校3年間	147万円	422万円
高校3年間	137万円	291万円



山形県では、  
小学校・中学校は公立校に  
進学するケースが多いため、  
私立校の多い東京都と比べ、  
幼稚園から高校までにかかる  
教育費の平均は約半分です。

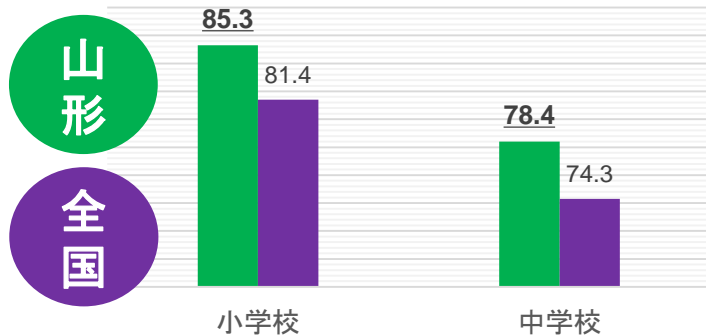
(資料出所) 文部科学省「平成30年度学校基本統計」  
(学校基本調査報告書)

# 教 育

一人ひとりに丁寧に向き合える教育環境、  
地域の魅力や伝統に触れられる教育環境が整っています。

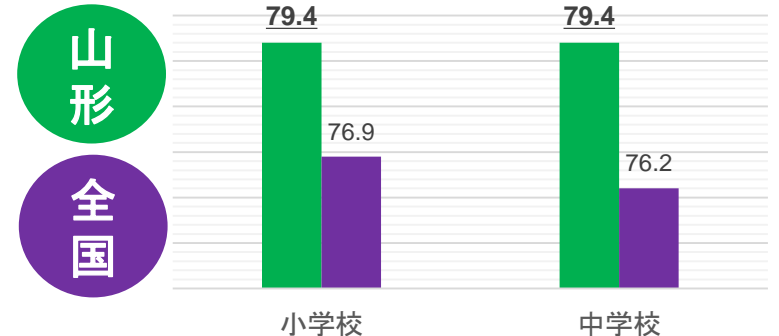
## ■一人ひとりに合った授業

「授業は、自分に合った教え方、教材、学習時間になっている」と答えた児童生徒の割合(%)



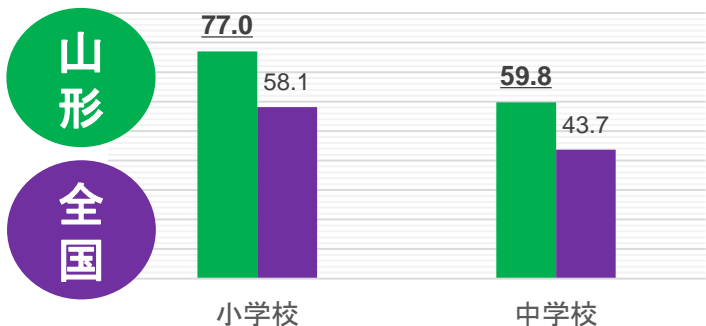
## ■児童生徒の自尊感情の高さ

「自分には良いところがある」と答えた児童生徒の割合(%)



(資料出所) 文部科学省「令和3年度全国学力・学習状況調査」

## ■地域の行事に参加している児童生徒の割合(%)



(資料出所) 文部科学省  
「令和3年度全国学力・学習状況調査」

全国初！全小中学校で1学級33人以下の  
少人数学級編制を実施し、一人ひとりの  
子どもを大切にする教育を実現しています。  
また、地域の方を先生に迎え、その土地の  
伝統芸能や文化、魅力などを学ぶ機会を設け、  
豊かな感性を育む環境を作っています。

# 暮らし（住まい）

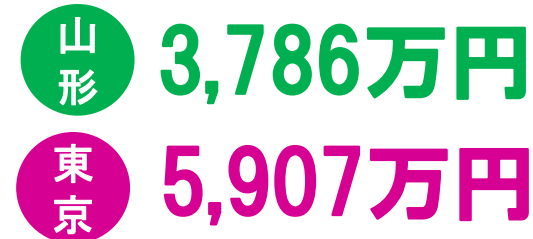
山形では、東京より安い価格で、より広い家を持つことができます。

## ■住宅購入平均価格

住宅のみ購入の場合



土地と住宅同時購入の場合



（資料出所）独立行政法人 住宅金融支援機構「フラット35利用者調査報告（2020年）」

## ■持ち家比率

全国3位



（資料出所）総務省「社会生活統計指標－都道府県の指標－2021」

## ■持ち家住宅の延べ面積 全国 第3位

山形県 160.9㎡ 東京都 93.3㎡  
東京の1.72倍

## ■1住宅当たり敷地面積 全国 第2位

山形県 368㎡ 東京都 139㎡  
東京の2.64倍

（資料出所）総務省「社会生活統計指標－都道府県の指標－2021」

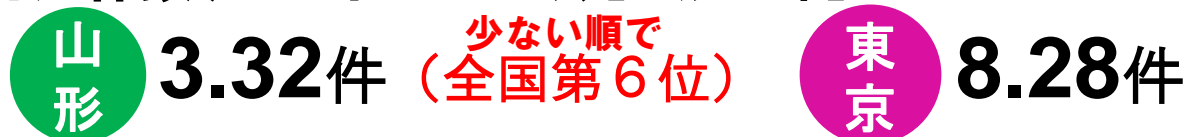


# 暮らし(安心・安全)

犯罪が少なく、安心・安全な生活ができます！



## ◆犯罪認知件数(人口千人当たり)【平成30年】



(資料出所) 総務省「社会生活統計指標 - 都道府県の指標 - 2021」

## ◆刑法犯検挙率(認知件数1件当たり)【令和2年】



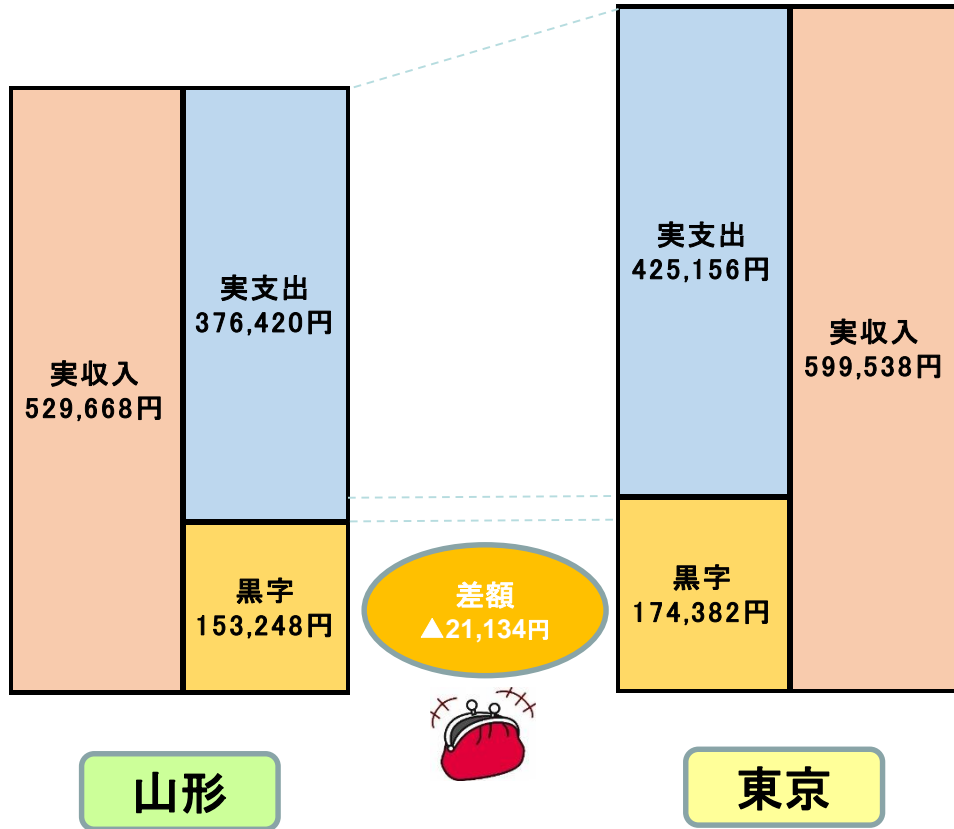
## ◆窃盗犯検挙率(認知件数1件当たり)【令和2年】



(資料出所) 警察庁「犯罪統計資料(令和2年1~12月分)【確定値】」

# 暮らし（お金）

## 1ヶ月の家計収支（2019年） （2人以上世帯のうち、勤労者世帯の平均）



山形県は配偶者収入が多い。  
働きながら子育てできる環境が  
整っていて、共働きが多い

山形県は住居に係る支出は少ないが、  
持ち家の平均延べ面積は  
東京都の1.72倍!

山形県は中学校、高校も公立が多いため、  
幼稚園～高校卒業までにかかる教育費は  
東京都の半分以下。

山形県は、東京都と比べ水道代が高く、  
冬期間の暖房費も多くかかる。

山形県は車社会のため、  
自動車の購入費用や維持費用が  
東京都より多くかかる。

（出典）2019年家計構造調査（総務省統計局）

東京都と比べ、収入差は約7万円であるのに対し、黒字額の差は約2万円。  
**山形県でも、充実した暮らしを送ることが可能！！**